

平成29年度 施策評価検証シート

評価年月日 平成29年 7月 6日

| | | 部会名 | | しごと部会 |
|--|-----------------------------|-----|----------|-------------|
| 施策No. | 1-3-1 | 施策名 | 商業形態の多様化 | 施策主管課 商工労政課 |
| 施策の目指す姿 | 消費者ニーズに対応した多様な商業形態が形成されています | | | |
| ■施策評価シート(平成28年度実績評価)について | | | | |
| ①施策を構成する事務事業の評価・検証について | | | | |
| ●「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 商店街賑わい再生戦略事業の「直結度」:この事業を構成するセミナー等は即効性が必ずしもないこと、市内全域を対象とする事業であるにもかかわらず「小さな百貨店ぶらっと」(石鳥谷中央通り商店街振興会)が一部地域に限定されていたことにより、B評価。 買い物困難者対策事業(ゼロ予算)の「直結度」:国の補助授業を活用した事業への販売場所等の提供に限られていることにより、B評価。 以上の評価がなされていたが、消費者のニーズに対応した多様な商業形態形成にとって、2つの事務事業は直接貢献しており、「直結度」はA評価としても良いのではないか。 | | | | |
| ●「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 市民ニーズや市の関与の必要性の変化、費用対効果や成果の向上余地等を把握し、的確に行われている。 | | | | |
| ②施策の成果指標及び達成状況の分析について | | | | |
| ●「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 「まちづくり市民アンケート」に基づいて、単純集計(成果指標はこの数値)のみならずクロス集計(世代、地域)の動向についても説明がされ、的確に分析されている。 なお、岩手県による消費購買動向調査の結果も踏まえて、今後さらに分析を深めてほしい。 | | | | |
| ③施策の総合的な評価について | | | | |
| ●「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 課題と方向性について記載されているが、課題の文章表現がわかりにくい。また、方向性について、「小さな百貨店ぶらっと」という成功事例を、他の地域にも浸透させるということを付加すべきである。 | | | | |
| ④シート記載内容について | | | | |
| 直結度についての客観的な判断基準等が明示されていればさらによい。 | | | | |